

看護薬理学公開セミナー

「看護の視点が薬物治療を変える!!」

# 脳に効く 薬の不思議



開催期間

2021年8月21日(土)～9月3日(金)

## オンデマンド配信

オンデマンド方式で開催いたします。  
 詳しくは学術集会ホームページよりご確認ください。  
<https://www.jsnr.or.jp/am/47/>

講師

西 昭徳 先生

久留米大学医学部薬理学講座 教授



神経症状や精神症状を改善するために、多くの中枢神経作用薬が使用されています。しかし、多くの副作用が発現する、十分な効果が得られない、作用機序が複雑でわからない、依存が問題になる薬の使用が心配など、中枢神経作用薬ならではの難しさが存在し、薬物療法に対する満足感が得られにくい現状があります。中枢神経作用薬が抱えるこのような問題には、脳の解剖学的な特徴、神経回路ネットワークの複雑さ、数少ない神経伝達物質による脳機能の調節などが影響しています。脳機能と言っても、運動から感覚、さらに認知や感情など、快適で質の高い日常生活をおくる上で必要な多彩な機能が含まれます。神経回路ネットワークのバランスの乱れが神経精神疾患の原因と考えられており、薬物療法によって正常な神経回路ネットワークの状態に戻し維持することが難しいのが実情です。

このセミナーは、中枢神経作用薬に関する理解を深め、臨床における薬物療法の向上を目指しています。複雑な高次脳機能を解説するのではなく、疑問に思っている脳に効く薬の不思議を解決することによって、中枢神経作用薬の理解を深めます。1つの不思議の理解は、関連した脳機能にも共通していることが多く、理解を一気に広げられることを期待しています。

セミナーでは、以下のような不思議を取り上げます。

睡眠薬でなぜ依存が起ころの?	薬の標的は1つじゃないの?	部分アゴニストって何だろう?	複数の神経回路に影響するとしたら?	薬が効くまでに2週間もかかるのはなぜ?
----------------	---------------	----------------	-------------------	---------------------

このセミナーが、今までと違った視点で、脳の機能や中枢神経作用薬について考える機会になり、看護師の皆さんの業務や研究に活かされることを期待しています。

お問い合わせ先

一般社団法人日本看護研究学会 第47回学術集会事務局  
 e-mail : 47am@jsnr.or.jp

共催：一般社団法人日本看護研究学会第47回学術集会、日本薬理学会